



こと言の葉 kotonoha

築館高等学校 図書館だより
発行：平成 30 年 6 月 1 日
文責：司書 佐藤

6月・・・雨が多くなる季節ですが、読書のパワーでしっかりと落ち着いたリラックスタイムにしてはいかがでしょうか……。天気や読む場所によって、本を変えてみるのもいいかもしれません。自分の部屋、学校の図書館、家の庭などの屋外など、自分がリラックスできる場所を探してくださいね！

おすすめ本の紹介 ～新着図書の中から～

『祈りのカルテ』 著者 知念 実希人
(出版社 株式会社 KADOKAWA)



研修医、諏訪野良太は初期臨床研修中で、内科、外科、小児科など様々な科をまわっている。そこで出会った患者たち……。彼女はなぜ、毎月5日に退院できるように入院するのか。初期の胃がんの内視鏡手術をなぜ老人は拒否するのか。循環器内科に入院中のわがままな女優。患者たちの心の謎を、新米医師、諏訪野良太が解き明かす。

『少年と老婆』 著者 岡田 伸一
(出版社 株式会社 幻冬舎)

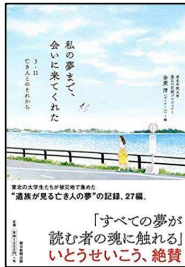


「少年」は近くに住む「老婆」から不思議な話を聞かされる。「この世でもっとも美しい女性」が新婚旅行直前に消えた夫を探して旅をした5つの国と、神秘的力を持つ6人の王様のお話。

「愚かな姫」との出会いが女性の運命を変える。
正義・勇気・弱さ・美しさー。人生の大切なヒントがこの物語の中に……。

『私の夢まで、会いに来てくれた 3・11 亡き人のそれから』

東北学院大学 震災の記録プロジェクト
金菱清 (ゼミナール) 編
(出版社 朝日新聞出版)



私たち金菱清教授のゼミは、震災直後から被災地で調査を続け、さまざまな形で人々の声を集めてきた。

本書は 2017 年度のゼミ生たちが「被災者遺族が見る亡き人の夢」をテーマに調査をした記録集だ。大震災で大切な人を亡くした遺族は、どのような夢を見て、何を想い過しているのだろうか。

(「はじめに」から)

『生きていくあなたへ 105 歳どうしても遺したかった言葉』

著者 日野原 重明
(出版社 株式会社 幻冬舎)



105 歳の医師、日野原重明先生。2017 年 7 月に先生は神様のもとへ旅立たれました。医者として多くの患者と交流し、子どもたちには「命の授業」なども行ってきました。

そんな日野原先生が最後に私たちに伝えたかったことは……。この本は「対話」の形をとるために、先生の自宅のリビングルームで行ったインタビューをもとに作られました。

おすすめ以外にも新着図書はたくさんあります。図書館入口をチェックしてくださいね。

2年生読書会

5月24日、今年度最初の読書会を2年生が行いました。準備する時間が少ない中、図書委員さん、読書会担当のLHR委員さん、お疲れ様でした。3年生は10月、1年生は12月に読書会を予定しています。2年生読書会の様子を紹介します。

- 【2年1組】 テキスト『汚点(しみ)』 著者 井上 ひさし
- 【2年2組】 テキスト『さがしもの』 著者 角田 光代
- 【2年3組】 テキスト『首飾り』 著者 G・モーパッサン
- 【2年4組】 テキスト『ガイド』 著者 小川 洋子

読書会の目的として

- ① 文学作品などを読むことを通じて、ものの見方や考え方を深める。
- ② 人前で自分の意見や感想を発表するという体験を積む。
- ③ クラス全員が同じ本を読んで話し合いをすることで、考え方や感じ方の違いを知る。

などがあげられています。2年1・2・4組さんは「班別討議」、3組さんは「ディベート」にチャレンジして読書会を進めてくれました。

あなたは賛成ですか？反対ですか？



この質問には、私はこう思います。



グループの意見、どうまとめますか？



グループの意見がまとまったら、黒板に書いてください。

様々な話し合いの形式を経験して、自分の意見や考えを自分の言葉で相手に伝えることができるようになることはとても大切です。「読書会」という経験は本を読むということだけではなく、みなさんのこれからの生活に役に立ちます。何が正解で、何が不正解ということはありません。

ぜひ、積極的に参加して自分の考えを発表してみてください。



『本の返却』 忘れていませんか？

いつも、図書館のご利用ありがとうございます。借りている本の返却期限は過ぎていませんか？時間が足りなくて読み終わらない時などは、一度図書館へ持ってきてください。貸出延長をいたします。どこに置いたか忘れてしまったなどということが無いようにご協力をお願いいたします！